

建設通信新聞

Architectures, Constructions & Engineerings News (Daily)

2014年(平成26年)12月18日(木曜日) (第三種郵便物認可)

経験を共有して 安全管理に生かす

横浜市と建築3団体が 安全パトロール報告会

横浜市建築局、横浜建設業協会、神奈川県空調衛生工業会、横浜市電設協会は16日、横浜市中区の神奈川県建設会館で第44回公共工事安全パトロール実施結果報告会を開いた。建築、電気、空調・衛生の各パトロール班代表者による結果報告を受けて同局の横

山邦幸技術監理担当課長が講評。この中で「経験を共有する貴重な時間であり、この場限りではなく持ち帰って生かしてほしい」と呼び掛けた。

冒頭、横浜建設業協会の土志田領司会長は「これを契機に安全に対する意識を高揚し、事故を未然に防いでほしい。災害ゼロの達成と労働災害のない、快適な職場環境の実現につながるよう皆さんのご協力をお願いしたい」とあいさつした。写真。

ら年末年始の繁忙期を迎えるが、緊張感を忘れずに無事故・無災害で工事を完了させてほしい」と願った。

このあと神奈川県空調衛生工業会の小堀創理事・安全委員長、横浜市電設協会の矢口孝広理事長らを紹介。各パトロール班の代表者が結果を報告した。最後に横山担当課長は、今回と第43回のパトロール結果を比較して、電気は全体で前回と同じだが、A評価が減少し、B評価が増加していると課題を指摘。現場内の整理整頓、災害事例の活用、作業員に対する注意喚起など好事例を紹介し、年末年始の事故を防ぎ、明るい新年を迎えられるように求めた。



横山 邦幸